

Audit Tool HELP

Table of Contents

1	Introduction	2
2	Audit Configuration File	3
2.1	Open Audit Configuration	3
2.2	Save Audit Configuration	3
3	Audit	4
3.1	Audit Setup	4
3.2	FTP Login	5
3.3	File Transfer	5
3.4	Audit Mode 1	6
3.5	Audit Mode 2	6
3.6	Batch Job Time Set	6
4	Audit Report Viewer	7
4.1	Select Reference	7
4.2	View Audit Report	7
4.2.1	Print View Content	8
4.2.2	Open Audit Report	8
4.2.3	Save Audit Report To File	8
4.2.4	Send A Mail	9
4.2.5	View All	9
4.2.6	Record in Local, Not in Remote Data Set	9
4.2.7	Record in Both Dataset, But Different	9
4.2.8	Record in Remote Dataset, Not in Local Data Set	9
4.3	View Batch Log	9
5	Remote Communication Setup	10
6	Help	11
7	Exit	12

1 Introduction

Audit Tool ユーティリティによって、PDS ユーザは、2 つの PDS プロジェクトサイトのリファレンスデータ間の不一致を検査し、報告することができます。

リファレンスデータの量は多いため、リファレンスデータの検査のオペレーションはバッチモードで行う必要があります。Audit Tool のバッチジョブは、以下の 3 つのモードで実行されます。

- File Transfer archive data set only
- Audit PDS reference data only
- File Transfer archive data set and Audit reference data.

Audit Tool では、リモートサイトで PDS のプロジェクトアーカイブを実行し、1 つのディレクトリにデータセットファイルを収集することが必要になります。リモートサイトで指定された“Issued PDS archive data set”ディレクトリは、audit のバッチでのファイル転送ルーチンによって、必要な PDS のアーカイブデータセットファイルをローカルディレクトリに転送するための元の位置として使用されます。ローカルの“Issued PDS archive data set”ディレクトリ内の転送されたアーカイブデータセットファイルは、稼働中のローカルな PDS プロジェクトのリファレンスデータに対する検査を行うために使用されます。

Audit Tool ユーティリティにより、各 audit 操作のために、ローカルな“Issued PDS data set”またはリモート PDS サイトから転送された audit のバッチ操作を使用することができます。

“local audit site”とは、Audit Tool ユーティリティが実行される PDS サイトです。

詳細については、

2 Audit Configuration File

3 Audit

4 Audit Report Viewer

5 Remote Communication Setup

を参照して下さい。

2 Audit Configuration File

Audit コマンドは、one-step の audit 操作を提供し、audit の設定パラメータを audit のコンフィグレーションファイルに保存することを可能にします。audit を定期的に繰り返して実行するために、以前セーブされた audit のコンフィグレーションファイルを開くことができます。

2.1 Open Audit Configuration

Open Audit Configuration オプションにより、新しい Audit Configuration ファイルの定義、または以前セーブした Audit Configuration ファイルの選択を行うことができます。Audit Configuration ファイルを選択すると、Audit Setup 画面が表示されます。

詳細については、[3.1 Audit Setup](#)を参照して下さい。

2.2 Save Audit Configuration

Save Audit Configuration オプションにより、現在の audit の設定を保存する場所を指定することができます。

詳細については、[3.1 Audit Setup](#)を参照して下さい。

3 Audit

Audit コマンドは、タブ形式のウィンドウインターフェイスを使用し、バッチによる audit の異なるモードに必要なバッチパラメータを選択することを可能にします。audit の結果は、様々な表示基準で表示、保存、印刷を行うことができます。

オプション

- Audit Setup
DesignReview セッションの作成、変更、削除の管理、ラベルファイルの定義および作成を行います。
- FTP Login
このウィンドウは、リモートのアーカイブデータセットファイルを転送するバッチジョブをサブミットする際に使用されます。
- File Transfer
File Transfer オプションは、FTP Login 画面を表示し、リモートのアーカイブファイルを転送するバッチジョブをサブミットすることを可能にします。
- Audit Mode 1
Audit Mode 1 オプションは、転送されたリモートのアーカイブデータセットとローカルなプロジェクトのリファレンスデータの audit を実行するために使用されます。
- Audit Mode 2
Audit Mode 2 オプションは、Archive Dataset Location を表示し、ローカルに存在するリファレンスアーカイブデータセットとローカルなプロジェクトのリファレンスデータの audit を実行するために使用されます。
- Batch Job Time Set
Batch Job Time Set オプションにより、バッチジョブをサブミットする日時を選択することができます。

3.1 Audit Setup

Audit Setup コマンドは、FTP login, file transfer オプション、audit mode 1, audit mode 2, batch job time set オプションへのアクセスを提供します。

オプション

- FTP Login
このウィンドウは、リモートのアーカイブデータセットファイルを転送するバッチジョブをサブミットする際に使用されます。

- **File Transfer**
File Transfer オプションは、FTP Login 画面を表示し、リモートのアーカイブファイルを転送するバッチジョブをサブミットすることを可能にします。
- **Audit Mode 1**
Audit Mode 1 オプションは、転送されたリモートのアーカイブデータセットとローカルなプロジェクトのリファレンスデータの audit を実行するために使用されます。
- **Audit Mode 2**
Audit Mode 2 オプションは、Archive Dataset Location を表示し、ローカルに存在するリファレンスアーカイブデータセットとローカルなプロジェクトのリファレンスデータの audit を実行するために使用されます。
- **Batch Job Time Set**
Batch Job Time Set オプションにより、バッチジョブをサブミットする日時を選択することができます。

3.2 FTP Login

FTP Login コマンドは、リモートマシンへアクセスする際に使用されるリモートホスト、ユーザ名、パスワードを指定するために使用されます。

フィールドの説明

- **Remote Host**
リモートのホスト名を入力します。
- **Username**
リモートのホストマシンにアクセスするためのユーザ名を入力します。
- **Password**
リモートのホストマシンにアクセスするためのパスワードを入力します。
- **OK**
OK を選択すると、リモートのホストマシンに対する FTP Login を開始します。
- **Cancel**
FTP Login 情報を削除し、Audit Setup に戻ります。

3.3 File Transfer

File Transfer オプションは、FTP Login 画面を表示し、リモートのアーカイブファイルを転送するバッチジョブのサブミットを実行することを可能にします。

3.4 Audit Mode 1

Audit Mode 1 オプションは、転送されたリモートのアーカイブデータセットとローカルなプロジェクトのリファレンスデータの audit を実行するために使用されます。

3.5 Audit Mode 2

Audit Mode 2 オプションは、Archive Dataset Location を表示し、ローカルに存在するリファレンスアーカイブデータセットとローカルなプロジェクトのリファレンスデータの audit を実行するために使用されます。

3.6 Batch Job Time Set

Batch Job Time Set オプションにより、バッチジョブをサブミットする日時を選択することができます。

4 Audit Report Viewer

Audit Report Viewer – Audit Report Viewer オプションは、Audit のバッチジョブによって作成された audit 出力レポートの表示、保存、印刷に使用されます。

オプション

- Select Reference
Select Reference オプションにより、表示する特定のリファレンスデータの選択が可能になります。
- View Audit Report
View Audit Report オプションは、選択されたリファレンスデータの audit レポートを表示します。
- View Batch Log
View Batch Log オプションは、available なバッチログのリストを表示し、バッチログを印刷するのかわ開くのかを選択することを可能にします。

4.1 Select Reference

Select Reference オプションにより、表示する特定のリファレンスデータの選択が可能になります。

フィールドの説明

- Reference Data File Selector
このフィールドにより、Audit Report Viewer で表示するリファレンスデータのセットを選択することができます。

4.2 View Audit Report

View Audit Report オプションは、選択されたリファレンスデータの audit レポートを表示します。

オプション

- Print View Content
Print View Content オプションは、Audit Report を印刷するための印刷ダイアログボックスを表示します。
- Open Audit Report
Open Audit Report オプションにより、新しい Audit Report ファイルの定義、または以前セーブした Audit Report ファイルの選択が可能になります。

- **Save Audit Report To File**
Save Audit Report To File オプションは、Save Audit Report 画面を表示し、ファイルの位置の選択および名前を付けることを可能にします。
- **Send A Mail**
Send A Mail オプションは、テキストボックス内でレポートファイルが選択されている場合のみ使用することができます。
- **View All**
View All オプションは、ローカルおよびリモートのデータセットの記録のリストを表示します。
- **Record in Local, Not in Remote Data Set**
Record in Local, Not in Remote Data Set は、ローカルのデータセット内で、レポートのデータセットには含まれないレコードのリストを表示します。
- **Record in Both Dataset, But Different**
Record in Both Dataset, But Different オプションは、ローカルおよびリモートのデータセットに含まれているが異なるレコードのリストを表示します。
- **Record in Remote Dataset, Not in Local Data Set**
Record in Remote Dataset, Not in Local Data Set は、リモートのデータセットに含まれるがローカルのデータセットには含まれないレコードのリストを表示します。
- **View Batch Log**
View Batch Log オプションは、available なバッチログのリストを表示し、バッチログを印刷するのか開くのかを選択することを可能にします。

4.2.1 Print View Content

Print View Content オプションは、Audit Report を印刷するための印刷ダイアログボックスを表示します。

4.2.2 Open Audit Report

Open Audit Report オプションにより、新しい Audit Report ファイルの定義、または以前セーブした Audit Report ファイルの選択が可能になります。

4.2.3 Save Audit Report To File

Save Audit Report To File オプションは、Save Audit Report 画面を表示し、ファイルの位置の選択および名前を付けることを可能にします。

4.2.4 Send A Mail

Send A Mail オプションは、テキストボックス内でレポートファイルが選択されている場合のみ使用することができます。

4.2.5 View All

View All オプションは、ローカルおよびリモートのデータセットの記録のリストを表示します。

4.2.6 Record in Local, Not in Remote Data Set

Record in Local, Not in Remote Data Set は、ローカルのデータセット内で、レポートのデータセットには含まれないレコードのリストを表示します。

4.2.7 Record in Both Dataset, But Different

Record in Both Dataset, But Different オプションは、ローカルおよびリモートのデータセットに含まれているが異なるレコードのリストを表示します。

4.2.8 Record in Remote Dataset, Not in Local Data Set

Record in Remote Dataset, Not in Local Data Set は、リモートのデータセットに含まれるがローカルのデータセットには含まれないレコードのリストを表示します。

4.3 View Batch Log

View Batch Log オプションは、available なバッチログのリストを表示し、バッチログを印刷するのか開くのかを選択することを可能にします。

オプション

- Print Log File
このオプションは、バッチログファイルを印刷する際に使用されます。
- Open Log File
このオプションは、バッチログファイルを開く際に使用されます。
- Help
このオプションはヘルプファイルを表示する際に使用されます。
- Exit
このオプションは、View Batch Log オプションを終了する際に使用されます。

5 Remote Communication Setup

Remote Communication Setup オプションは、FTP Login 画面を表示する際に使用されます。

詳細については、[3.2 FTP Login](#)を参照して下さい。

6 Help

Help オプションは、ヘルプファイルを表示する際に使用されます。

7 Exit

Exit オプションは、現在のオプションを終了する際に使用されます。